平成 29 年 3 月 15 日
株式会社テムザック

もっと自由に。行きたいところへ。

Robotic Activechair RODEM
（ロボティクス アクティブチェア ロデム）

「CeBIT 2017（ドイツ国際情報通信技術見本市）」に出展

株式会社テムザック（福岡県宗像市：代表取締役社長 髙本 陽一「以下、テムザック」）は、3 月 20 日から 24 日までの 5 日間、ドイツ・ハノーバーで開催される「CeBIT 2017（ドイツ国際情報通信技術見本市）」のジャパン・パビリオン、NEDO ブースに Robotic Activechair RODEM を出展します。

CeBIT 2017（ドイツ国際情報通信技術見本市）
期間：平成 29 年 3 月 20（月）～ 3 月 24 日（金）
場所：ハノーバー国際見本市会場　ホール 4
概要：IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等先端技術を活用した B to B ソリューションの世界最大級展示会

RODEM（ロデム）は、ロボット技術を使って、誰もが暮らしやすい社会を実現したいとの思いで開発された新しい移乗・移動機器です。

2009 年にコンセプトモデルを開発。九州大学病院リハビリテーション部の高杉准教授の協力のもと、実験と改良を繰り返し、2014 年に欧州の基準適合マークである CE マーキングを取得しました。2015 年に NEDO のプロジェクトにおいて、デンマークの介護・福祉施設、高齢者住宅、リハビリセンターなどで、実証実験を実施。実証実験データをもとに、今回の Robotic Activechair RODEM を開発しました。

“もっと自由に、行きたいところへ” をコンセプトに、ユーザーの生活空間を広げ、質の高い生活を実現するための移乗・移動を支援します。

車いすやシニアカーの代わりに

■体の向きを変えることなくベッドや便座等の間で移乗が可能
■移乗がスムーズにできる
■立つと座る、両方の姿勢を保てる
■車いすでは背中や腰にかかっていた負荷を、胸・膝・お尻に分散
■生活空間を広げ、精神的な自立度をアップ
■健常者と視線の高さを合わせ違和感なく溶け込める

スマートフォンで遠隔操作

スマートフォンより、Robotic Activechair RODEM の移動・座面の昇降操作ができます。

「抱っこからおんぶへ」

従来の移乗・移動方法

一人で行うと危険

介護者に負担がかかる

新しい移乗・移動方法

Robotic Activechair

介護者、被介護者双方の身体に負担が少なく、
移乗時の危険を回避し、安全かつ自由に移動できる

負担軽減に

介護労働負担
職業性腰痛
介護費用コスト
国民負担

患者、高齢者、障がい者の自立に

高齢者／障がい者の移乗・移動
自立支援によって
ADL / QOL

Robotic Activechair RODEM スペック

幅	695mm
長さ	1125mm
シートの高さ	400mm～600mm
最小旋回半径	500mm
スピード	Max 6km/h
バッテリー	PBバッテリー 24V（12V×2） 34Ah
充電方法	Plug-in

株式会社テムザック
〒811-3502 宗像市江口465番地
TEL：0940-38-7555　FAX：0940-38-7556
広報担当：須藤

ホームページ：http://www.tmsuk.co.jp/
メール：pr@tmsuk.co.jp
:テムザック / tmsuk
https://fb.me/tmsuk.co.jp

Practical Robotic Solutions tmsuk